

公益財団法人 臨床薬理研究振興財団 2021年度(第46期)事業報告

2020年度 第3回理事会(2021年3月18日)の決定に基づき、以下の事業を実施した。

1. 2021年度(第46回)研究奨励金等の交付 (定款 第4条第1項第1号、第2号)

(1) 研究奨励金

◆募集内容

- ・ 募集研究分野：臨床薬理研究
- ・ 募集件数（公募） 20件程度
- ・ 交付金額 20件 各200万円
- ・ 募集期間 2021年6月14日～8月31日
- ・ 応募件数 96件

◆選考経過

- ・ 第1回選考委員会開催（募集方法等の審議） 2021年5月27日
- ・ 選考委員による申請書の評価 2021年9月2日～10月1日
- ・ 第2回選考委員会開催（交付対象者候補の選考） 2021年10月19日

◆交付対象者の決定、通知及び交付

- ・ 2021年度第2回理事会にて決定 2021年11月16日
- ・ 決定通知完了 2021年11月19日
- ・ 交付対象件数 20件、附属明細書-1に掲載
- ・ 交付金額 4,000万円（各200万円）
- ・ 贈呈証書授与完了 2021年12月24日
- ・ 交付完了 2022年2月25日

(2) 海外留学助成金

◆募集内容

- ・ 募集人数（推薦） 2名以内
- ・ 交付金額 2件 各 350万円/年、原則2年間交付
- ・ 推薦期間 2021年6月14日～8月31日
- ・ 推薦件数 4件

◆選考経過

- ・ 第1回選考委員会開催（推薦方法等の審議） 2021年5月27日
- ・ 選考委員による申請書の評価 2021年9月2日～10月1日
- ・ 第2回選考委員会開催（交付対象者候補の選考） 2021年10月19日
- ・ 交付対象者候補の面接実施 2021年10月22日

◆交付対象者の決定、通知及び交付

- ・ 2021年度第2回理事会にて決定 2021年11月16日
- ・ 決定通知完了 2021年11月19日
- ・ 交付対象者 2名、附属明細書-1に掲載
- ・ 交付金額 700万円（各350万円）
- ・ 贈呈証書授与完了 2021年12月20日
- ・ 交付完了 2022年1月20日

◆2020年度交付対象者への継続交付

- ・ 交付対象者数及び金額 2名、各350万円

2. 臨床薬理研究振興財団賞の贈呈（定款 第4条第1項第1号、第3号）

日本臨床薬理学会に設置された選考委員会に選考を委任し、臨床薬理研究振興財団賞を次のとおり交付した。

(1) 第32回(2021年度)臨床薬理研究振興財団賞

◆募集内容

・ 募集件数	学術奨励賞	2件
	学術論文賞	3件
・ 募集期間	2021年4月1日～6月17日	
・ 応募件数	学術奨励賞	4件
	学術論文賞	14件

◆選考経過

・ 第1回選考委員会開催（募集方法等の審議）	2021年4月1日
・ 選考委員による申請書の評価	2021年7月16日～9月3日
・ 第3回選考委員会開催（交付対象者候補の選考）	2021年9月21日

◆交付対象者の決定、授与式及び交付

・ 日本臨床薬理学会理事会にて決定（メール回付審議）	2021年10月1日
・ 2021年度第2回理事会にて承認	2021年11月16日
・ 交付対象件数	5件、附属明細書-2に掲載
・ 交付金額	学術奨励賞 2件 600万円（各300万円） 学術論文賞 3件 150万円（各50万円）
・ 授与式（第42回日本臨床薬理学会学術総会（仙台））	2021年12月10日
・ 交付完了	2022年2月10日

3. 研究報告集「臨床薬理の進歩」の発刊（定款 第4条第1項第5号）

(1) No. 42の編集・発刊

2021年4月3日に編集会議を開催し、次のとおり実施した。

- ・ 掲載論文 附属明細書-3に掲載

研究奨励金交付論文（2018年度）	19編
研究奨励金交付論文（2017年度）	1編
海外留学助成金報告	1編
計	21編

- ・ 発刊日 2021年6月20日

・ 配布先	大学医学部長、医科大学長、大学院研究科長など	88冊
	大学薬学部長、薬科大学長、大学研究所長など	118冊
	大学歯学部長	27冊
	大学医学系、薬学系主要講座など	619冊
	附属病院長その他主要病院長	350冊
	財団役員、評議員、選考委員 他	78冊
	交付者	90冊
	図書館	54冊
	その他助成財団、会社関係他	217冊
	計	1,641冊

(2) No. 43の発刊準備

・掲載論文

研究奨励金交付論文 (2019 年度)	17 編
研究奨励金交付論文 (2017 年度)	1 編
海外留学助成金報告	2 編
計	20 編

・発刊予定年月

2022年6月

4. 研究報告会の開催 (定款 第4条第1項第5号)

臨床薬理研究振興財団研究大賞(以下「研究大賞」という。)受賞者等による第14回臨床薬理研究振興財団研究報告会(以下「研究報告会」という。)を次のとおり実施した。2021年度は、2020年度同様、新型コロナウイルス感染拡大状況を考慮し、ビデオ配信にて開催した。

また、研究報告会の内容を、12月1日より弊財団ホームページでオンデマンド配信を行うとともに、収録したDVDと研究大賞受賞者の別刷を冊子にまとめたDVD BOOKを作成・配布した。

(敬称略)

- ・日時 : 2021年11月16日(火)15時30分～18時00分
- ・開催方法 : ビデオ配信開催
- ・アクセス数 : 76名
- ・プログラム : 附属明細書-4に掲載

〈第1部〉 研究大賞表彰式

挨拶	理事長	齋 寿明
選考経過報告	理事・編集委員	藤村 昭夫
表彰式(表彰概要説明)		

〈第2部〉 研究報告会 座長

理事	岡 希太郎
理事	中野 重行

演者 研究大賞受賞者 5名

海外留学助成金受給者 1名

閉会にあたって 評議員 大野 竜三

【研究報告会】研究大賞の受賞者表彰と研究成果発表、及び海外留学修了者の研究報告の会で、今後の臨床薬理学の発展や臨床薬理研究者の育成に貢献することを目的に2008年度から実施している。

【研究大賞】当財団が交付した研究奨励金を用いて研究が実施され、その後、研究の成果として研究報告集「臨床薬理の進歩」に掲載された論文の中から、特に優秀で今後の発展が期待されるものを選び表彰するものである。

5. 臨床薬理学集中講座の開講（定款 第4条第1項第4号）

2020年度の臨床薬理学集中講座（以下「集中講座」という。）は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、受講者、講師の安全を最優先で考慮し中止した。2021年度は、新型コロナウイルス感染拡大の収束が不透明であることから、確実に開催が可能なWEBでの開催を初めて実施した。

本集中講座の一環として、第42回日本臨床薬理学会学術総会のプログラムの中で第5回臨床薬理学集中講座フォローアップ・セミナー（以下「フォローアップ・セミナー」という。）を組み入れ、当財団主催にて、2021年12月9日に開催した。本集中講座は、若手医師・薬剤師等が臨床薬理学を体系的・集中的に研鑽する場として、薬物療法の基本を実践し、臨床試験を通じたエビデンスの創造・発信ができる医療従事者・研究者の育成を趣旨とする。

集中講座を企画・運営するために、下記の臨床薬理学集中講座実行委員会、及び臨床試験企画立案演習チーム会を開催した。また、集中講座開催日までにWeb会（受講者間のリレーション構築のためのミーティング）を実施した。

臨床薬理学集中講座実行委員会

- 1) 開催日： 2021年5月18日
議 事： 第5回集中講座の受講者決定、
第5回フォローアップ・セミナー準備状況の確認
- 2) 開催日： 2021年11月16日
議 事： 第5回集中講座の結果報告
第5回フォローアップ・セミナー準備状況の確認
2022年度の集中講座に向けての考え方の検討
- 3) 開催日： 2022年2月3日
議 事： 第5回フォローアップ・セミナー開催報告、
2022年度の集中講座計画概要
- 4) 開催日： 2022年3月2日
議 事： 2022年度の集中講座の募集要項・募集方法等決定（Web開催に決定）

臨床試験企画立案演習チーム会

- 1) 開催日： 2021年6月17日
議 事： 演習の班編成、演習テーマ検討等
- 2) 開催日： 2021年7月13日
議 事： 演習テーマ検討等
- 3) 開催日： 2021年8月12日
議 事： 演習内容の検討等

Web会（受講者間のリレーション構築のためのミーティング）

- 1) 開催日： 2021年9月3日
内 容： 班ごとに自己紹介等
- 2) 開催日： 2021年9月8日
内 容： 課題演習

第5回臨床薬理学集中講座フォローアップ・セミナーの概要：附属明細書-5に掲載

附属明細書

【附属明細書-1】

2021年度(第46回)研究奨励金・海外留学助成金交付対象者

◆研究奨励金 20件 (1件200万円交付)

(50音順 敬称略)

氏名	所属機関	研究テーマ
秋好 健志	慶應義塾大学 薬学部	低頻度バリエント保有者における薬物相互作用リスクの予測精度を改善するための in silico 研究
牛島 健太郎	山陽小野田市立山口東京理科大学 薬学部	小児生体肝移植後の急性拒絶反応出現抑制を目指したメチルプレドニゾロンの時間治療
木瀬 康人	大阪大学大学院 医学系研究科 産科学婦人科学	患者由来腫瘍 In vitro モデル(オルガノイド、PDE)、In vivo モデル(PDX)を用いた婦人科「希少」悪性腫瘍の個別化医療プラットフォーム開発
國政 啓	大阪国際がんセンター 呼吸器内科	PD-1 阻害剤治療における網羅的ゲノムバイオマーカー探索研究
熊谷 尚悟	国立がん研究センター 研究所 細胞情報学	腎細胞がんに対するがん免疫治療の新規バイオマーカー探索とその耐性機序の解明
柴田 海斗	浜松医科大学医学部附属病院 薬剤部	関節リウマチの病態及び疾患活動性に基づいた抗 IL-6 受容体抗体薬の至適投与法の構築
立川 正憲	徳島大学大学院 医歯薬学研究部 (薬学域)	母体血中の胎盤分泌エクソソームを介した胎盤関門における薬物輸送機能予測法の基盤開発
谷 英明	慶應義塾大学病院 医学部精神・神経科	治療抵抗性うつ病の神経基盤の解明
津野 宏隆	国立病院機構 相模原病院 臨床研究センター	線溶系の活性抑制による変形性関節症の治療に関する研究
豊原 敬文	東北大学大学院 医工学研究科	腸内細菌に着目した慢性腎臓病患者の動脈硬化に対する新たな治療法の開発
西田 翔	自治医科大学 腎泌尿器外科学講座 腎臓外科学部門	タクロリムス代謝物の時空間的動態解析による慢性腎障害発症機序の解明
野田 哲史	滋賀医科大学医学部附属病院 薬剤部	カボザンチニブの薬物動態に基づく個別化投与法の確立
萩原 宏美	名古屋市立大学病院 臨床研究開発支援センター	眼底疾患における AI 搭載医療機器を用いた注射製剤の開発
長谷川 久紀	東京医科歯科大学医学部附属病院 膠原病・リウマチ内科	免疫フェノタイプに応じた炎症性筋疾患の治療戦略の構築
林 久允	東京大学大学院 薬学系研究科	小児肝臓難病の救命に資する肝保護療法薬の開発
曳野 圭子	理化学研究所生命医科学研究センター	リツキシマブによる重症低ガンマグロブリン血症・無顆粒球症に関連する遺伝子の探索と予測モデルの構築
松金 良祐	九州大学病院 薬剤部	グレリン様作用薬と統合的 omics 解析を用いた膵癌悪液質の集学的薬物治療の探索
吉田 康将	名古屋大学大学院 医学系研究科	子宮平滑筋肉腫に対する新規治療標的の臨床応用への導出
吉田 守美子	徳島大学大学院 医歯薬学研究部 血液・内分泌代謝内科学	透析患者での新型コロナワクチン免疫反応と抗 PEG 抗体の関連の検討
若井 恵里	三重大学大学院 医学系研究科 統合薬理学分野	多層的アプローチを用いたバルプロ酸誘導性肝障害に影響を及ぼす併用薬の探索

◆海外留学助成金 1件 (1件 350万円/年)

(50音順 敬称略)

氏名	所属機関	留学施設名 (国名)	期間	研究テーマ
田中 遼大	大分大学医学部附属病院 薬剤部	シンシナティ小児病院 医療センター (アメリカ)	2年	生理学的薬物速度論モデルを用いた抗体製剤の小児炎症性腸疾患個別化療法の確立
平井 邦朗	昭和大学医学部 内科学講座 呼吸器アレルギー内科学 部門	ウプサラ大学 (スウェーデン)	2年	高齢・低ADL・併存症合併 COPD 患者における薬剤効果の解明

【附属明細書-2】

第 32 回 (2021 年度) 臨床薬理研究振興財団賞

(学術奨励賞 2件: 600万円 (各 300万円)、学術論文賞 3件: 150万円 (各 50万円))

(敬称略)

	氏名	所属機関	研究テーマ・受賞論文タイトル (掲載誌)
学術奨励賞	田野島 玲大	横浜市立大学附属病院 次世代臨床研究センター・ 小児科	小児急性リンパ性白血病治療におけるステロイド関連脂肪肝のトランジェント・エラストグラフィを用いた非侵襲的な評価とバイオマーカーの探索
	福土 将秀	札幌医科大学附属病院 薬剤部	COVID-19 パンデミックにおける経口 JAK 阻害薬の母集団 PK-PD/PGx 解析と潰瘍性大腸炎治療の個別化に向けた多機関共同研究 (OPERA Study)
学術論文賞	鈴木 康裕	奥羽大学 薬学部	抗体医薬品のマイクロドーズ量に関する初回投与量と承認された最小臨床用量からの考察 <i>臨床薬理</i> , 51(1), 1-10, 2020
	平井 利典	三重大学医学部附属病院 薬剤部	Serum Digoxin Concentrations and Outcomes in Patients with Heart Failure and Atrial Fibrillation: A Single-Center Observational Study <i>臨床薬理</i> , 51(2), 57-64, 2020
	濱野 裕章	徳島大学 臨床薬理学分野	Diphenhydramine may be a preventive medicine against cisplatin-induced kidney toxicity <i>Kidney International</i> , 99(4), 885-899, 2020

【附属明細書-3】

研究報告集「臨床薬理の進歩」No.42 掲載論文

2018 年度 研究奨励金交付論文 19 編

(50 音順 敬称略)

氏 名	所属機関 (交付時)	論文タイトル
池本 竜則	愛知医科大学 整形外科科学講座	日本の慢性腰痛患者に対するオープンラベルプラセボ効果の検証
小川 陽一	山梨大学医学部附属病院 皮膚科学講座	尿中 lipocalin-2 測定は Stevens-Johnson 症候群、中毒性表皮壊死症の早期診断バイオマーカーとなりうる
影山 健	大阪市立大学医学部大学院 医学研究科	患者由来肝細胞癌による同所性 PDX 肝癌ラットモデルの開発と IVR 治療効果判定
神田 光郎	名古屋大学医学部附属病院 消化器外科二	アセチルコリン受容体サブユニットを標的とした新しい胃癌抗体医薬の開発研究
岸本 久直	東京薬科大学 薬学部 薬物動態制御学教室	膜結合型 mucin 分子の機能解明に基づく薬物吸収動態の変動要因解析
小村 和正	大阪医科大学 泌尿生殖・発達医学講座 泌尿器科学教室	DNA 複製ストレス、DNA ダメージ修復をターゲットとした新規治療法の確立
坂田 (柳元) 麻実子	筑波大学 医学医療系 血液内科	血管免疫芽球形 T 細胞リンパ腫における RHOA-VAV1 シグナルの異常活性化を標的とする治療開発
佐藤 和秀	名古屋大学大学院 医学系研究科 呼吸器内科学	光を用いた新しい小細胞肺癌制圧への挑戦 ～臨床応用を目指した新規治療法の開発～
座間味 義人	徳島大学大学院 医歯薬学研究部 臨床薬理学分野	医療ビッグデータを活用したドラッグリポジショニングによるオキサリプラチン誘発末梢神経障害の予防薬開発
鈴木 陽介	明治薬科大学 薬剤情報解析学研究室	OATP1B 活性に及ぼす生理的要因の評価
滝口 慎一郎	福井大学医学部附属病院 子どものこころ診療部	児童青年期の反応性愛着障害におけるオキシトシン点鼻投与の効果 ～ランダム化二重盲検比較試験～
田中 和樹	浜松医科大学 医学部附属病院 第二内科	カルボプラチンに伴う悪心・嘔吐に対するオランザピン併用制吐療法法の確立
中竹 利知	関西医科大学 医学部 外科学講座	抗腫瘍免疫賦活機能を”武装化”した癌特異的複製型 HSV-1 による肝細胞癌への治療戦略
福土 将秀	旭川医科大学病院 薬剤部	PD-1 阻害薬の PK/PD-ADA の母集団解析
松井 基浩	東京都立小児総合医療センター	小児髄腔内播種に対するエトポシド脳室内投与確立に向けた髄液中薬物動態解析
山 佳織	北海道科学大学 薬学部薬学科	レビー小体型認知症の遺伝学的・生化学的背景の解明
山田 忠明	京都府立医科大学大学院 呼吸器内科学	肺がん薬剤抵抗性に関わる新規コンパニオン診断法の開発
山村 寿男	名古屋市立大学大学院 薬学研究科 細胞分子薬効解析学分野	肺動脈性肺高血圧症の病態形成機構に関与するクロライドチャネルの機能解析
横山 雄太	慶應義塾大学 薬学部 医療薬学部門	非小細胞肺癌患者におけるオシメルチニブの PK/PD/PGx に基づく治療最適化

2017 年度研究奨励金交付論文 1 編

大倉 毅	鳥取大学医学部附属病院 内分泌代謝内科	2 型糖尿病における新規インスリン抵抗性治療標的 FABP4 の検討
------	---------------------	------------------------------------

海外留学助成金報告 1 編

吉田 和生	慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室	Centre for Addiction and Mental Health (CAMH) 留学記
-------	---------------------	---

【附属明細書-4】

第14回研究報告会

日 時：2021年11月16日（火） 15:30～18:00

開催方法：ビデオ配信開催

第1部 臨床薬理研究振興財団 研究大賞表彰式（15:30～15:50）

挨拶	理事長	齋 寿明
選考経過報告	自治医科大学 名誉教授（理事・編集委員）	藤村 昭夫 先生
表彰式	（表彰概要説明）	

第2部 研究報告会（15:50～18:00）

【研究報告】

座長	東京薬科大学 名誉教授（理事）	岡 希太郎 先生
	大分大学 名誉教授（理事）	中野 重行 先生

医療ビッグデータを用いたオキサリプラチン誘発末梢神経障害の予防薬開発	
岡山大学病院 薬剤部	座間味 義人 先生

OATP1B 活性に及ぼす生理的要因の評価	
明治薬科大学 薬剤情報解析学研究室	鈴木 陽介 先生

PD-1 阻害薬の PK/PD-ADA の母集団解析	
札幌医科大学附属病院 薬剤部	福土 将秀 先生

尿中 lipocalin-2 測定は Stevens-Johnson 症候群、中毒性表皮壊死症の早期診断バイオマーカーとなりうる	
山梨大学医学部 皮膚科学講座	小川 陽一 先生

血管免疫芽球性 T 細胞リンパ腫における RHOA-VAV1 シグナルの異常活性化を標的とする治療開発	
筑波大学 医学医療系 血液内科	坂田（柳元）麻実子 先生

【留学報告】

ワイル・コーネル医科大学（アメリカ）への留学医報告	
東邦大学医学部 内科学講座 膠原病学分野	金子 開知 先生

【閉会にあたって】

愛知県がんセンター 名誉総長（評議員）	大野 竜三 先生
---------------------	----------

【附属明細書-5】

第5回臨床薬理学集中講座フォローアップ・セミナー(2021年12月9日、仙台)

座長：浜松医科大学 教授

乾 直輝 先生

・セッション1 (臨床研究の試験デザインに関する方法論)

パネリスト：

東京慈恵会医科大学 臨床薬理学

志賀 剛 先生

「臨床研究のリサーチクエスションと実効性」

・セッション2 (臨床薬理共同研究推進体制の構築に向けた事例紹介)

パネリスト：

岡山大学病院 薬剤部

座間味 義人 先生

松山大学 薬学部 医療情報解析学研究室

武智 研志 先生

国立長寿医療研究センター 先端医療開発推進センター

鈴木 啓介 先生

昭和大学薬学部 臨床薬学講座 臨床研究開発学部門

肥田 典子 先生

「臨床薬理共同研究推進体制の構築に向けた取り組み」